

第4回中部横断自動車道開通記念リレーシンポジウム ～総括～

中部横断自動車道でつながる・ひろがる地域の未来

2022年12月15日開催

2021年8月29日の中部横断自動車道（山梨-静岡間）の開通を記念して、関係企業・団体からパネリストを招き、開通に伴う効果や課題、今後の展望等の意見交換を目的とするシンポジウムを開催しました。

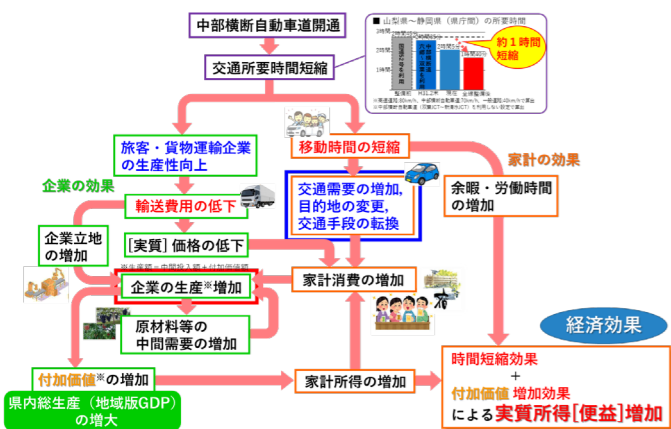
第4回は総括として、市民の日常利用や社会経済活動全般など、より幅広い視点から、中部横断自動車道に関する意見の交換を行いました。



中部横断自動車道を活用し、新たな経済の好循環を生み出す

(1) 中部横断自動車道のもたらす経済効果

インフラ整備による経済効果とは、所要時間短縮による直接的な効果に加えて、時間短縮による付加価値としてもたらされる、余暇時間増、家計消費増、企業立地増といった波及的な効果を指します。中部横断自動車道（静岡・山梨間）の全線開通によって、山梨県内では企業生産指数の増加や、観光入込み数の増加といった形で、現実にもその効果が顕れています。



図：中部横断自動車道のもたらす経済効果

(2) 中部横断自動車道開通1年後の変化

- 交通流動** 国道52号からの交通量転換に加えて、新たな広域交通流動が誘発。
- 防災・医療** 災害時の代替路としての役割や、救急搬送時間短縮による救命率向上への期待が大きい。
- 産業・物流** 山梨県内の事業所の立地が今後かなり増える見込み。山梨県と他県との企業取引も拡大。
- 観光** 周辺都県からの来訪者が増加。道の駅富士川の来訪者数も開通前に比べ倍増。

(3) 山梨県のさらなる成長に向けて

山梨県のさらなる経済成長に向けて、県内の生産性向上と省コスト化による付加価値の最大化に加えて、外部からの新たな需要を呼び込んでいくことが重要です。新たな需要を誘発し、経済の好循環を生み出すためには、開通した中部横断自動車道を有効に活用しつつ、関係各所が連携して、付加価値を生み出せるような取り組みを考えていくことが大事です。



山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター 教授 武藤 慎一氏

地域全体の環境づくりを通じて、山梨経済のさらなる発展を



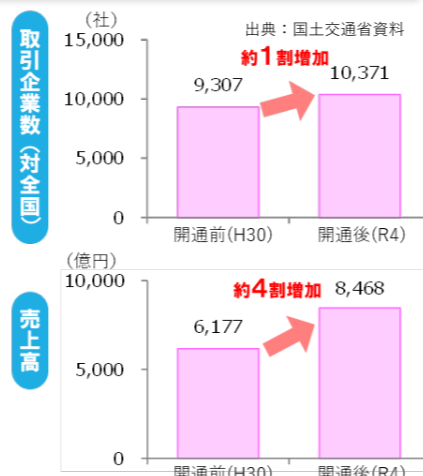
経済分野 山梨経済同友会 中部横断道部会長 五領田 周司氏

産業・物流

沿線企業の取引企業数や売上が中部横断自動車道の開通前後で増加しています。今後清水港との連携も考慮しながら、中部横断自動車道の恩恵を最大限に活用できるよう、地域全体で高速道路沿線の環境を整備していくことが重要です。

観光

身延山周辺地区では中部横断自動車道の開通前から門内商店街の活性化に向けた取組みが検討されてきました。沿線の観光施設やホテルでも様々な催し物やツアープランが展開されています。高速道路利用者にも立ち寄りってもらうために、地域の魅力を発掘し、効果的に発信していくことが重要です。



図：中部横断道沿線企業の取引企業数・売上高

高速道路ネットワークにより、農業分野の新たな可能性が発現



農業分野 NXアグリグロウ株式会社 代表取締役 諸井 奈美氏

産業・物流

中部横断道を活用することで、首都圏への配送の代替ルートが形成されただけでなく、関西・中京圏へと出荷エリアが拡大する可能性があります。

観光

農業体験など、実際に訪れて知ってもらうことで農産物のブランド力が高まるように、農業と観光の相乗効果を生かしていけるとよいでしょう。



図：農作物の出荷エリアの拡大

中部横断自動車道が開通したからこそその地域の交流



図：中部横断自動車道でつながる地域

交通流動

中部横断自動車道のおかげで、静岡への所要時間が1時間近く短縮されました。清水港へお寿司を食べに行きやすくなったり、静岡県との交流が生まれたりと嬉しく思っています。

防災・医療

中部横断自動車道を使うことで、いち早く病院に行けて命が助かるというのはまさに「命の道」だと思っています。

産業・物流

大きな倉庫や化粧品会社の進出があり、中部横断自動車道の開通が地域へもたらした影響の大きさは想像以上です。



地域住民 南アルプス女性みちの会 会長 長澤 よし子氏

今後の展望：長坂以北区間整備による期待

リニアとの連携による経済発展

中部横断自動車道は静岡・山梨・長野を結ぶ縦軸。リニアによって結ばれる東京・山梨・名古屋の横軸とも連携し、新たな経済発展が期待されます。（武藤）

開通による影響を発信

山梨～静岡間の開通による影響を鑑み、長坂以北区間をどう活かしていくか、各方面に発信、提言していくことが重要であると考えています。（五領田）

農産物の出荷エリア拡大

長坂以北区間整備により、長野のレタスが食卓に届きやすくなり、山梨の野菜をより広く届けられたりすることが期待されます。開通時の大きな流れに向け、準備をしていきたいです。（諸井）

早期開通への願い

長坂以北区間が開通すれば、「君は太平洋を見たか、僕は日本海を見たい」の言葉が実現でき、1日でも早くつなげてほしいと強く願っています。（長澤）

高速道路の効果を最大限に活用し、持続可能な地域の未来へ



コーディネーター 山梨総合研究所調査研究部長 山梨県立大学特任教授 UTYテレビ山梨「スゴろく」(水曜コメンテーター) 佐藤 文昭氏

(1) 道路整備による影響

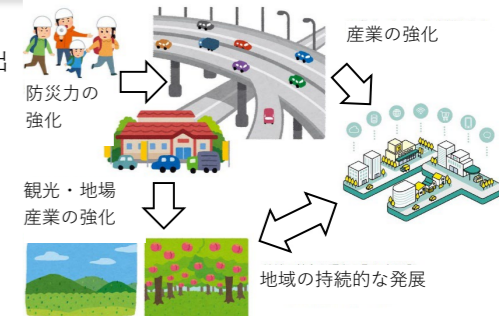
利点…走行時間短縮、沿線地域の地価上昇・雇用創出 課題…自然環境への負荷、沿線地域の景観への影響

(2) 高速道路の役割

- ・人やモノが移動するための手段
- ・災害時の避難場所や、支援物資の運搬経路
- ・道の駅やサービスエリア等、地域の魅力発信場所 → 情報発信を行い、来訪者と地域をつなげていく

(3) 総括

持続可能な地域をつくるためには、様々な関係者、そして私たちが積極的に連携し、来訪者と地域との交流を生み出していくことが重要です。地域固有の魅力を生かして多様な人々にとって「訪れたい」「住んでみたい」と思えるようなストーリーを描いていくことが、魅力溢れる地域の未来につながるのではないのでしょうか。



図：メディア（手段・媒体）としての高速道路の役割

リレーシンポジウム 全体の流れ (全4回)

